

ワーク・ライフ・バランスで、事業所も従業員ももっと元気に!!

ワーク・ライフ・バランスってなんだろう?

- 「仕事」と、子育てや介護、地域生活等の「仕事以外の生活」と調和がとれ、その両方が充実している状態のことです。
- ワーク・ライフ・バランスは、一人ひとりが望む生き方ができる社会の実現であり、従業員、事業所、社会全体を豊かにするものです。

なぜ、今ワーク・ライフ・バランスが必要なの?

- 従業員、事業所、社会が抱える課題対策に有効だからです。

① 従業員 ⇒ 希望する生活のバランスを実現するために必要

- ◆ 仕事と家庭の両立が困難
- ◆ 自己啓発や地域活動への参加が困難
- ◆ 長時間労働が心身の健康に悪影響

② 事業所・組織 ⇒ 多様な人材を生かし競争力を強化するために必要

- ◆ 人材獲得競争の激化
 - ・ 従業員の人生の段階に応じたニーズへの対応
 - ・ 意欲や満足度の向上
 - ・ 心身の健康維持
 - ・ 女性の活用

③ 社会全体 ⇒ 経済社会の活力向上のために必要

- ◆ 労働力不足の深刻化
- ◆ 生産性の低下・活力の衰退
- ◆ 少子化の急速な進行
- ◆ 地域社会のつながりの希薄化

「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の実現した社会とは

仕事と生活の調和が実現した社会とは「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」です。
(厚生労働省「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」より)

ワーク・ライフ・バランスに取り組むメリット

事業所

- ・ **従業員の満足度や仕事への意欲が向上**
従業員の働き方等のニーズに応えることで、会社への満足度が向上し、仕事への意欲が高まります。
- ・ **従業員の能力が向上**
子育てや介護、地域活動、自己啓発などの多様な経験により、生活者の視点や創造性、時間管理能力が向上します。また、業務分担の見直しや業務応援などにより、周りの従業員の能力も向上します。
- ・ **従業員の定着・優秀な人材の確保**
育児や介護での離職がなくなり、従業員の知識や経験が失われずに新たな採用や育成コストを削減できます。
- ・ **コストの削減**
業務の効率化や離職回避によって、コストが削減できます。長時間労働の是正で残業代や光熱費が削減できます。
- ・ **生産性の向上**
業務目標を変えずに効率化を進めることで、労働生産性が高まります。
- ・ **企業のイメージが向上**
先進的な取り組みをさまざまな機会を通じてPRすることで、企業の知名度の向上が期待できます。

ワーク・ライフ・バランスに取り組むメリット

従業員

- ・ **心身の健康保持が促進**
長時間労働による心身への疲労や、仕事と育児、介護の両立の悩みなどが解消され、仕事以外の時間を充実させることでストレスが軽減され健康増進が図れます。
- ・ **仕事以外の時間が充実**
仕事以外の時間を十分に確保できれば、家族とふれあう時間や趣味、自己啓発、地域活動に参加するための時間が充実し、人としての成長もできます。
- ・ **時間管理能力が向上**
育児、介護の経験を通じて時間の使い方が上手になったり、短時間で効率的に働こうと意識することで時間管理能力や労働生産性が向上します。
- ・ **生活者としての視点、創造性の向上**
自己啓発によるスキルアップや異業種間交流、地域活動への参加などのさまざまな経験や体験により生活者の視点、想像力が向上し、新たな発想による商品やサービスの開発、提供にもつながります。